

山野美容専門学校 学校関係者評価報告書

学校法人山野学苑
山野美容専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人山野学苑山野美容専門学校における令和5年度の自己点検評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施いたしました。以下のとおり報告いたします。

開催日時：2024年11月14日（月）10：00～12：00

開催場所：本学 9F 会議室

出席者：学校関係者評価委員

小野田 光伸	山野美容専門学校後援会会長 美遊代表
新藤 和久	株式会社田谷 常務執行役員 人事総務本部長
米山 実	株式会社東京美髪芸術学院 代表取締役社長
千葉 龍太郎	日本ロレアル株式会社 ブランドエクスペリエンス マネージャー

山野学苑教職員

山野 愛子 ジェーン	理事長・校長
中川 巧 スタン	理事長補佐
橋 しのぶ	副校長
大野 雅子	副校長
佐藤 美香	教頭
新井 敬朗	教頭
小川 立行	事務局長兼広報課長
荻野 道人	事務局長補佐
横川 岳春	教頭・教務部長
高谷 丘人	キャリアサポートセンター室長
山本 真理子	総務課長
土屋 信介	職業実践専門課程担当

実施方法：令和5年度の自己点検評価報告書を基に、各基準項目に沿って担当者より説明と取り組みを聞き、評価を行った。

【理事長挨拶】

本日は、お忙しい中、学校関係者評価委員会にご出席いただきありがとうございます。山野美容専門学校では、在学中の二年間を最大限に活用して、本来サロンに就職してから一年間かけて行うことを、在学中に身に付けさせたいという気持ちで取り組んでおります。グローバル化を見据えた学生のための英語教育、ボランティア活動、外部イベントでのヘアメイク等のサポートにも力を入れております。今後の更なる改善のため、皆様のご意見とご指導を頂ければ幸いに存じます。宜しく願いいたします。

1. 教育理念・目的・育成人材等

<土屋先生>

令和5年度は、「社会人基礎力」を高める「キャリア授業」を新しく取り入れましたので、横川教務部長より説明いたします。

<横川教務部長> (モニターを使用して説明)

- ・令和5年度入学の1年生より「キャリア授業」が始まりました。4月から5月に3時間×5回授業を毎週開講。これにより、学生生活に弾みをつけ、出口をイメージさせる目的があります。
- ・最初のテストで、自己分析コンピテンシーを行い、自己の強みを視覚化し、チームワークを学びます。また、卒業して3年のアシスタントやスタイリストになったばかりの方のインタビュー動画を見せて、卒業直後の自分の姿を具体的にイメージさせます。その後、学生に自由にディスカッションをしてもらい、在学中に何をすべきかを考え、大谷翔平選手のナインマトリクスの図式化を例に、各自作成。例えば、表の中央に最終目的として「アイドルをたくさんヘアメイクする！」と曖昧なイメージを記載した学生も、そこに至るまでの工程を、授業を通して学び「人脈を作る」「生活リズムを整える」「臨機応変」「相手の立場を考えて発言する」などを記載していました。自分の気持ちを言語化する作業は今後も役立ちます。
- ・キャリア授業で作成したナインマトリクスなどの個人結果は、担任とキャリアサポートセンター室にも共有し、面談や就職活動で学生をフォローする際にも役立ちます。

<土屋先生>

教育の成果が確認できるのは、卒業時となるかもしれません。結果を楽しみにしております。何かご意見はありますか？

<小野田先生>

1・2年生同士のディスカッションやコミュニケーションを取る授業はありますか？

<横川先生>

授業ではないですが、最初のオリエンテーションで交流のプログラムを組んでいます。

<小野田先生>

目上の人と接する機会を作ることが大事。コミュニケーションにより、上下関係の中で礼儀や敬語を学べますし、特に接客業であるサロンに就職した時に役立つと思います。

<理事長>

- ・1年生に美容の道具を配付する時に、2年生と一緒に道具の確認をしてあげる、という交流を取り入れています。部活動では、コンテストクラブが、1・2年生だけでなく卒業生とも交流があり、言葉遣いや礼儀を学んでいます。指導効果が高いので、全学生に広げていきたいと思っています。
- ・課外授業のイベントでは、基本的に2年生がメインで、1年生はそのヘルプに入るなど実践で交流を図ることもあります。
- ・来年4月からは、山野日本語学校が同じ校舎になるため、今後は学生同士でヘアセットやハンドマッサージをする交流や、国際交流の場も増やしたいと思っています。

<千葉先生>

QOL向上について記載がありますが、ウェルビーイングの視点が足りていない気がします。人間関係や仕事の充実感、満足感、プライベートも含めた要素のこと。学生には、人生において仕事も含めて満足できる人生設計を目指してほしいと思います。QOLという単語を使うのであれば、その方向性を意識してはどうでしょうか。

<土屋先生>

参考にさせていただきます。

2. 学校運営

<土屋先生>

運営方針で、学苑全体のミーティングの場として月初めに「月初朝礼」を行っています。

<新藤先生>

新しく「運営組織」についての項目が増えていますが、理由はありますか？

<荻野事務局長補佐>

今まで、運営組織の記載がなかったため追記しました。組織の変更ではなく、説明を明記したものです。

3. 教育活動

<小野田先生>

英語教育を前面に出してはどうでしょうか。インバウンドで外国からのお客様が増えていますが、英語が堪能な美容師が不足しています。他校との差別化となるので、SNSでも発信した方が良いでしょう。現在の授業は、受付で荷物を受け取りシャンプー台までの案内を英語でするところまでですよね。現場で必要なのは、カウンセリングできる英会話能力です。例えば、自分で自分の髪の悩みを日本語で言ってみて、それを英語に修正するようなレッスンがあるといい。お決まりのフレーズは忘れてしまうが、自分の悩みを英語で言うと、忘れないと思います。英語の先生にかつらをかぶっていただいたり、面白く英語でインタビューしたり。学生が英語を怖がらないよう、コミュニケーション重視の面白い授業の実践をしてほしいと思います。

<理事長>

すぐに取り入れて改善を図ります。他校では英語の授業がない所も多く、本校の強みだと思っています。進級時にホームルームのクラス替えするので、英語が上手いかどうかではなく、英語が好きな人、興味がある人のクラスを作ってもいいと考えています。

<千葉先生>

山野には、グローバルスタンダードとソーシャルを期待しています。カンバセーションが大事。ボキャブラリーが少なくても、ヘジテイトしないことが山野の強みではないでしょうか。ためらわない精神も鍛錬して欲しいです。

<小野田先生>

短大では、英語のみの先生達だけの交流がありましたね。また、ためらわない精神ということだと、私がミスインターナショナルのスタッフだった時の例ですが、通訳が全員ランチ休憩をしていて美容師しかいない状況で、急な変更があり説明しなければいけない場面がありました。その時、私がとっさに英語でアナウンスしました。マイクを通して、世界のミス50人の前で話すのは度胸がいることでしたが、簡単な単語とジェスチャーのみでも、用件を伝えることができました。将来どのような場面に直面するか分かりませんので、学びの姿勢は大切です。

<千葉先生>

技術者のインバウンドも増えましたが、アウトバウンドも増えています。海外でも法人を作ることができますので、海外で起業したいという美容師も増えています。

<米山先生>

ミスインターナショナルでの担当が楽しく、それがきっかけで、シンガポールに行った社員もいます。環境を整えば、私たちもチャンスを与えてあげられる。韓国も人気ですね。

<理事長>

- ・韓国で活躍している卒業生もいます。学生達との海外研修ツアーをも計画しています。
- ・グローバルな活動を目指す学生のチャンスとなるように、まずは、1年生に「英語に興味がある、上手ではないが関わりたい、外国に行きたい」などアンケートを検討します。
- ・ホームルームでの海外イベントの告知や、英語オンリー授業など、お互いに学び合える環境を整えることは可能です。それには、サロンからの情報のフィードバックやご協力も必要です。

<橋副校長>

来週には、英語のアンケートをとります。

4. 学習成果

<米山先生>

退学率はどうでしょうか？世間では、不登校の子供たちが増え、通信制の学校に進学することが多いと言われています。通信制の学校では、興味のある分野だけを専攻できるので、就職してから経験のないような社会の厳しさや人間関係の悪化で退職することも懸念されます。山野の退学に関する対応を教えてください。

<橋副校長>

- ・専門課程については、退学者は減っています。12クラスの内、3クラスずつ合同にしたユニット制を組んでいきます。担任だけでなく、ユニット3名の教員が相談してチームを組んで、やめそうな子が発する兆候を早期に発見して、担任やチームの先生がサポートすることで、退学抑止の効果が出ています。
- ・退学の理由は、人間関係の問題が多いので、積極的に面談をしています。
- ・長期の休みの後に休み癖がついてしまう学生の対応が、今後の課題です。

<理事長>

- ・アメリカンスクールでは、担任だけではなく、色々な先生に相談できる環境をオープンにして対応しているので、参考にしています。本校にもスクールカウンセラーがおり、相談できる体制が整っています。
- ・独り暮らしや家庭の事情などで、大人と話す環境がない学生は、特に気を付けています。話すことや、お互いをリスペクトする Be Kind の気持ちは、美道五大原則の内、健康美と精神美に関わってきます。

<米山先生>

私の会社では、1か月ごとにアシスタントの配属先をエリアチェンジをするという取り組みで、人間関係を広げています。これが、結果的に離職率の低下につながりました。

<新藤先生>

そうですね。うちも3か月ごとにアシスタントをローテーションしていますが、同じ会社でも、客層の違い、お店の違い、スタイリストの違いを知ることによって、視野が広がります。そうすると、人間関係への向き合い方も落ち着いてきます。

<理事長>

本校には、幸い先生が多く、クラス替えもあり、選択カリキュラムもあります。もし、思い詰めている学生がいたとしても、学校にもサロン側にもそういう取り組みがあるので知ってもらいたいですね。

5. 学生支援

<新藤先生>

社会人になった時の給与明細の見方を学ぶ授業はありますか？ 国の税制度、給与の手取り額や、個人事業主になった場合は社会保険がなくなるというデメリットなど。

<新井教頭>

「運営管理」の授業があります。国家試験にも出るので、社会制度については教えていますが、個人事業主の場合の具体的な内容などは話していません。今後授業内に取り入れることはできます。

<土屋先生>

「美容理論」の授業もあります。

<高谷室長>

キャリアサポートセンター室でも補足の授業を行っています。3時限授業で、給与明細・税制度の説明や、手取りが20%は引かれること、年金は20歳になったら払うこと等も説明しています。

6. 教育環境

<米山先生>

災害時のツールは？休みの日の安否確認システムはありますか？

<橋副校長>

- ・クラスルームのアプリを通じて連絡を取れるようにしています。全学生の出身地などは把握しており、休暇中でも追跡はできます。
- ・シチュエーションごとの防災訓練なども必要なため、学校の授業中・休みの時の訓練やマニュアル策定などを、事務局長と相談して現在計画を立てているところです。

<理事長>

- ・2011年3月11日の東日本大震災の時は、ちょうどホールでショーをしており、校舎の耐震設備が整っているため、学生全員で学校に泊まりました。本校では、学生以外にも近隣の方300人を受け入れられるようにしています。
- ・(2)の項目ですが、ミスユニバース以外にも多くのイベントをしています。

<土屋先生>

(2)の件は、次年度は全てのイベントを追記させていただきます。

7. 学生の受け入れ募集

<理事長>

今年から、渋谷区ふるさと納税に参加します。新しい取り組みとして、来年度は、ここに記載していきたいですね。

<小野田先生>

オープンキャンパスで、「English サロン」を作って外国の方と学生がコミュニケーションを取っている姿を見せたら、面白いと思います。英語でオーダーしたり、英語で説明したり。先生がサポートすれば、できるのではないのでしょうか？

<理事長>

とても良い意見をありがとうございます。ボランティアや国際的なイベントに高校生を

招待して、現場見学体験や、頑張っている在生見生を見てもらうこともできると思います。

8. 財務 なし

9. 法令等の遵守

<土屋先生>

学校のホームページに載せています

10. 社会貢献・地域貢献

<大野副校長>

警視庁が自転車のヘルメット着用キャンペーンを行っており、NHKの取材協力という形で、本校の学生が、ヘルメットを着用しても乱れない髪型のヘアセットを行い、大きく取り上げていただきました。

<土屋先生>

美容福祉があるからと本校に入学を決める学生が多いと思います。Ash様も、施設に訪問して技術提供されていますよね。

<米山先生>

5～6施設は定期的に行かせていただいています。

<荻野事務局長補佐>

本校のボランティアクラブである「美齢クラブ」は、美容福祉の教室を活用して、渋谷区地域包括支援センターと連携して、2カ月に1回ビューティーカフェを開いています。学生が、ハンドマッサージやヘアメイクを提供しています。

<理事長>

社会に貢献できて、学生も学ぶことが多いので、この取り組みは、これからも続けていきます。

11. 国際交流

<理事長>

山野日本語学校が4月から美容専門学校と同じ校舎に移ってきます。東京都では、留学生の就職の受け皿として美容師として就職できるようになりました。良い影響を受けて、日本語学校の学生の中からも、美容師を目指す方が増えるかもしれません。

<小野田先生>

美容師国家試験には、英語通訳がないのは課題でしょうか。

<理事長>

英語受験ができれば、世界中に日本の美容師免許が広がります。現在では、国家試験に備えるため、本校の入学試験でも高い日本語能力を必要としています。もちろん、入学後に学習のフォローはしていますが、これからは、山野日本語学校のサポートも得られます。

<千葉先生>

留学生に対して、日本語習得のサポートをしていることを、ここに記載してはどうでしょうか？

<土屋先生>

はい。来年度日本語学校が移転してきましたら、そちらに取り組み、再来年度にご報告できると思います。

<高谷キャリアセンター室長>

本校の留学生は全員就職できております。特区に関しては、2年から5年になったことも大きいです。

<理事長>

留学生のためにも、特区構想の活用を積極的に行う必要があります。また、日本は少子化が進んでおり、家族や他人との関りも希薄な傾向もあります。そんな状況の中で、人間同士のつながりを強化できるのが美容師という仕事だと思います。人と対面する仕事です。サポートできるような活動をして、美容業界に尽くしていきたいと思っています。

<土屋先生>

本日は、皆様より様々なご意見を頂戴いたしまして、ありがとうございます。今後に活かして参りたいと思います。ありがとうございます。

以上